

MACNICA

技術商社の、その先へ。

平成26年3月期 第2四半期 決算説明会

(プレゼン編)

2013年10月28日

目次

- I 2014年3月期 上半期の状況
- II 2014年3月期 下半期の予想
- III 当社の方向
- IV 利益還元



I 2014年3月期 上半期の状況

1 マクニカグループ実績（連結）

2 半導体事業実績（集積回路及び電子デバイスその他）

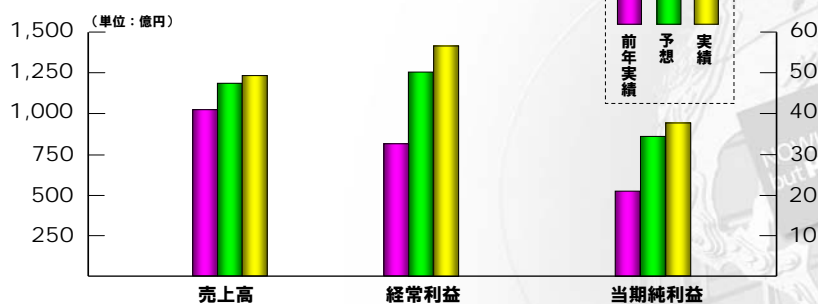
3 ネットワーク事業実績



1 マクニカグループ実績（連結）

I 2014年3月期 上半期の状況

① 実績



	前年実績 (12/9)	予想 (13/7/25)	実績 (13/9)	前年比	予想比
売上高	1,010	1,170	1,245	23%	6%
経常利益	33	50	56	70%	12%
純利益	21	34	37	77%	11%

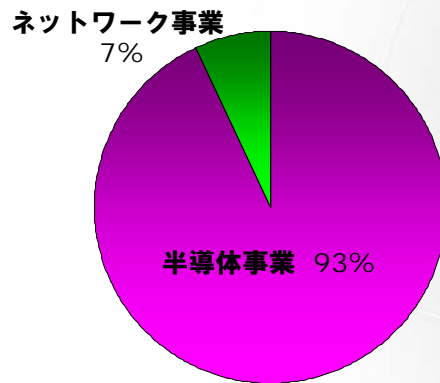


1 マクニカグループ実績（連結）

① 2014年3月期 上半期の状況

② 事業別売上高構成比

連結売上高1,245億円



5

MACNICA
日本国外でも売る

2 半導体事業実績（集積回路及び電子デバイスその他）

① 2014年3月期 上半期の状況

① 半期毎売上高推移



6

MACNICA
日本国外でも売る

② トピックス

売上高1,158億 前年比+25%

用途

- 産業機器は、輸出環境の改善などを背景に総じて回復傾向。
- 車載は、良好な需要環境に加え、新規ビジネスの立ち上がりにより順調に拡大。
- 民生機器は、デジタル・スチル・カメラや薄型TVが一部生産調整の影響を受けたものの、商権の拡大により全体としては堅調に推移。
- 通信インフラは、LTE基地局や伝送装置などが好調に推移。

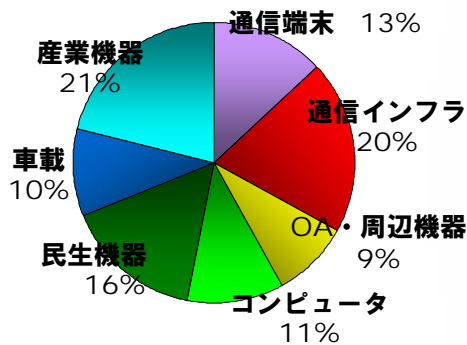
エリア

- 中国市場は景気減速が一巡したことから、産業機器関連を中心に回復傾向となり堅調に推移。また、日系企業のアジア地域への生産移管が引き続き拡大傾向にあり、海外売上比率は前年比7%アップの40%へ。



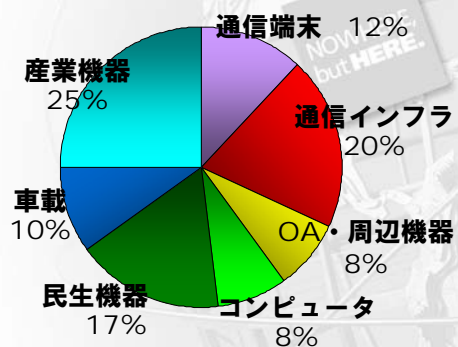
③ 用途別売上高構成比

売上高929億円



2013年3月期上半期

売上高1,158億円

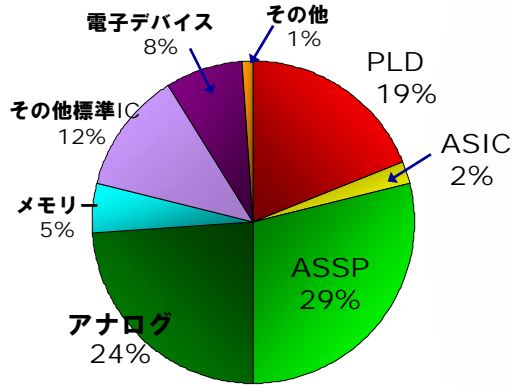


2014年3月期上半期



④ 品目別売上高構成比

売上高1,158億円



品目別前年比

品目	増減率
PLD	+21%
ASIC	△17%
ASSP	+32%
アナログ	+29%
メモリー	+31%
その他標準IC	+21%
電子デバイス	+24%
その他	△33%
半導体事業計	+25%



① 半期毎売上高推移



② トピックス

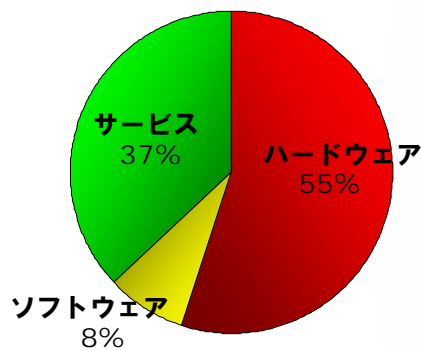
売上高87億 前年比+7%

- 用途**
- 官公庁や情報通信関連企業向けネットワーク機器やセキュリティ関連機器が伸長。
 - 標的型攻撃対策を始めとしたセキュリティ関連機器やセキュリティソフトウェアは好調に推移。
 - スマートフォンの通信設備向け通信機器は需要が一巡したものの、新規モデルの立ち上がりや特需を背景により持ち直し傾向。



③ 品目別売上高構成比

売上高87億円



品目別前年比

品目	増減率
ハードウェア	+3%
ソフトウェア	△3%
サービス	+17%



II 2014年3月期 下半期の予想

1 マクニカグループ予想（連結）

2 半導体事業予想（集積回路及び電子デバイスその他）

3 ネットワーク事業予想



1 マクニカグループ予想（連結）

II 2014年3月期 下半期の予想

① 予想

（単位：百万円）

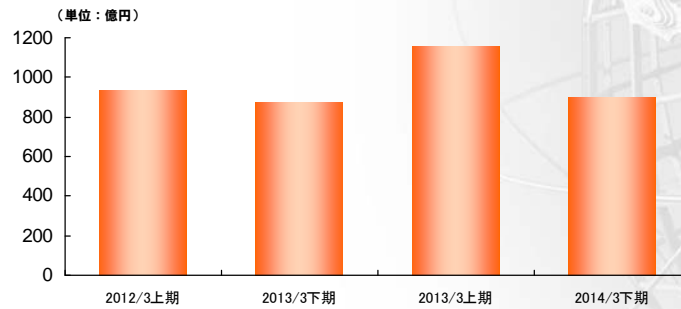
	上半期実績	前年比%	下半期予想	前年比%	通期予想	前年比%
売上高	124,525	23	99,575	4	224,100	14
集積回路及び電子デバイスその他事業	115,822	25	89,978	3	205,800	14
ネットワーク事業	8,702	7	9,598	21	18,300	14
売上総利益	16,602	18	14,938	6	31,540	12
営業利益	4,162	29	3,468	37	7,630	33
経常利益	5,586	70	3,014	25	8,600	51
当期純利益	3,743	77	1,807	47	5,550	66



① 半期毎売上高推移

景気は回復基調にあるものの、半導体市場は下期不透明。

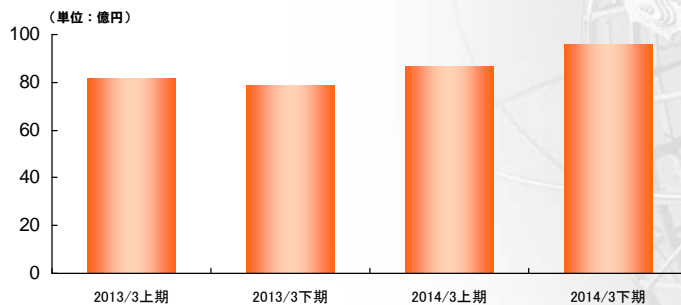
- 車載は、引き続き新規ビジネスの立ち上がりなどにより堅調に推移する見通し。
- 通信インフラ市場は、LTE関連は引き続き堅調に推移するものの、設備投資の上期偏重トレンドにより減少傾向となる見込み。
- 通信端末は、スマートフォン向けの一部ビジネスが商流の変更に伴い減少する見込み。



① 半期毎売上高推移

セキュリティ市場は引き続き拡大傾向。

- 標的型攻撃に対応する高度なセキュリティ関連製品が拡大の見通し。
- セキュリティ市場向けの関連機器やソフトウェアは引き続き好調に推移する見込み。
- 官公庁や大手企業向けネットワーク機器やセキュリティ関連機器は堅調に推移する見込み。



III 当社の方向

1 マクニカグループ（連結）

2 半導体事業（集積回路及び電子デバイスその他）

3 ネットワーク事業



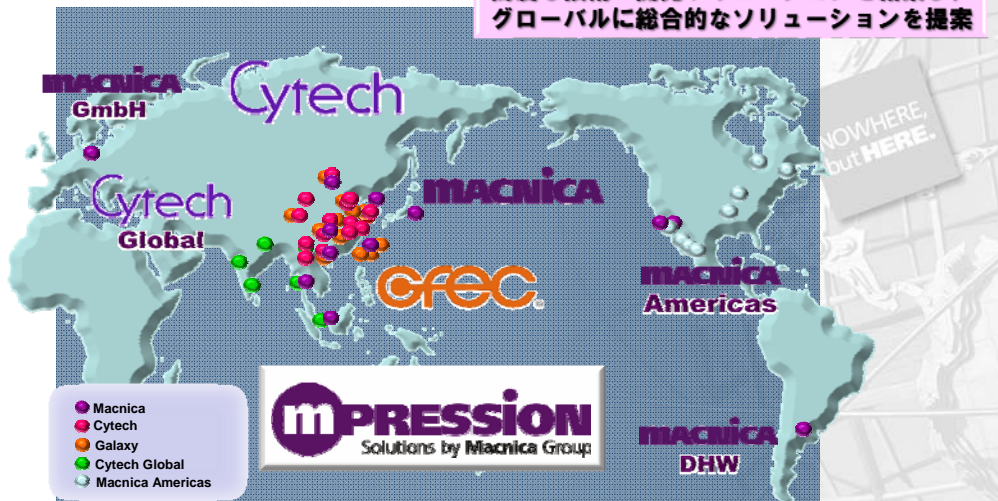
1 マクニカグループ（連結）

III 当社の方向

① ターゲット市場 - エリア

● グローバル市場への展開

高度な技術・開発ソリューションを結集し、
グローバルに総合的なソリューションを提案



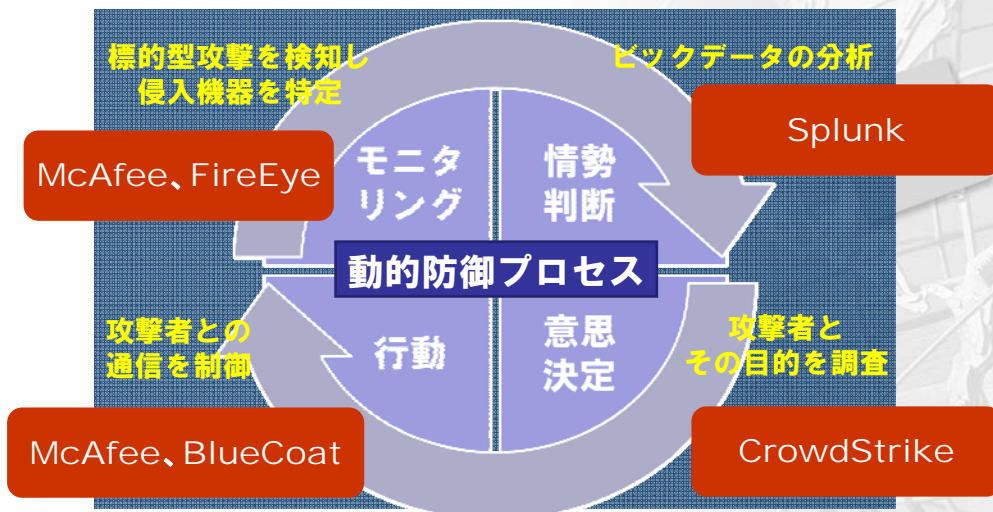
① ターゲット市場 - 用途

● 産業機器市場、車載市場への浸透



① ターゲット市場 - 用途

● セキュリティソリューション



IV 利益還元



IV 利益還元

配当について

● 配当方針

株主尊重・株主重視を経営の重要事項と位置付け、利益還元については、将来の事業展開と経営体質を強化するために必要な内部留保を勘案しつつ、業績に応じて安定的かつ継続的に実施することを基本方針としております。

● 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	20.00	20.00	40.00
26年3月期	30.00		
26年3月期（予想）		30.00	60.00

